

令和6年度 京都大学大学院人間・環境学研究科 特別公開講座
京都大学人間・環境学研究科編『学問で平和はつくれるか?』出版記念企画

コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区への攻撃……。この状況のなかで、学問はどのような役割を担ってゆけるのでしょうか? 京都大学人間・環境学研究科では、本年6月、多くの教員の論考をまとめて『学問で平和はつくれるか?』(京都大学学術出版会)という単著を刊行しました。また、総合人間学部と研究科は創設30年に合わせてそれぞれ改組もされました。これを機に、京都大学人文科学研究所の准教授で、総合人間学部の卒業生、人間・環境学研究科修士課程の修了生でもある藤原辰史さんに、講演を行っていただきます。



私が総合人間学部と人間・環境学研究科で学んだこと

学問で平和は つくれるか?



2024年
10月31日(木)
15時00分～18時00分

場所 人間・環境学研究科棟地階大講義室
講演 人文科学研究所准教授 藤原 辰史さん

開催形式／対面のみで行います。ただし、やむを得ない事情により中止する場合があります。その際には公開講座のホームページにてお知らせします。

受講資格・受講料／どなたでも無料でご参加いただけます。

申込方法／事前申込は不要です。ただし、先着 130 名までの入場とさせていただきます。

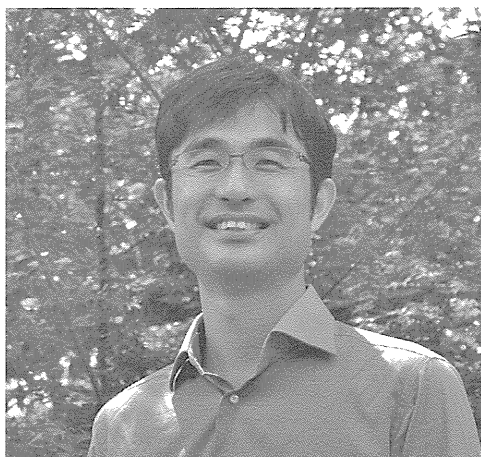
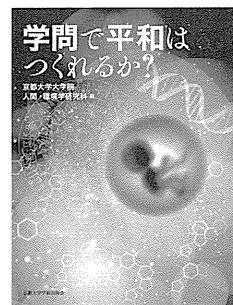
公開講座ホームページ : https://www.h.kyoto-u.ac.jp/academic/event/open_course/



学問で平和はつくれるか？——私が総合人間学部と人間・環境学研究科で学んだこと

日時 令和6年10月31日(木) 15:00～18:00 **場所** 人間・環境学研究科棟地階大講義室 **司会** 人間・環境学研究科教授 細見和之

- 15:00～15:10 主催者挨拶 人間・環境学研究科副研究科長 佐藤義之
- 15:10～16:10 藤原辰史さん講演
- 16:10～17:00 単行本執筆者数名からのコメント
- 17:10～17:30 藤原辰史さんの応答
- 17:30～18:00 会場参加者との質疑応答



講演者

藤原 辰史

(ふじはら たつし)

京都大学人文科学研究所准教授。専攻は農業史、食と農の思想、ドイツ現代史。

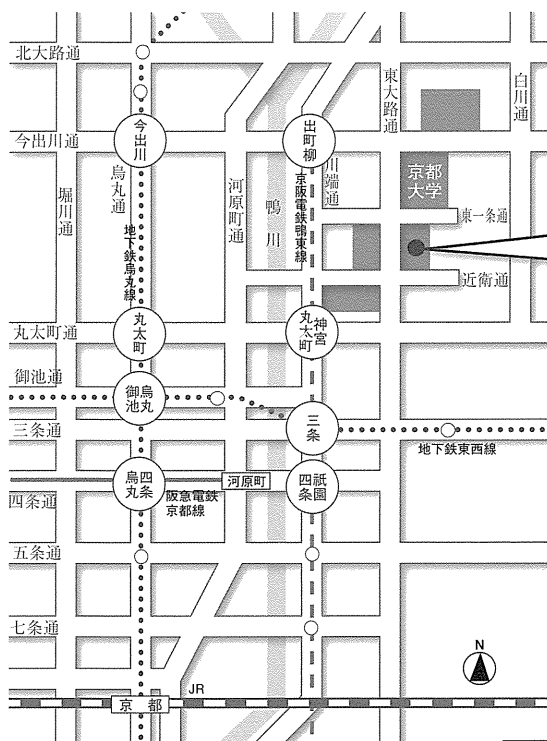
北海道旭川市生まれ。島根県横田町(現奥出雲町)出身。島根県立横田高等学校を経て、1999年京都大学総合人間学部国際文化学科卒業、2001年同大学院人間・環境学研究科修士課程修了、2002年同博士課程中退、京都大学人文科学研究所助手。

2004年5月京都大学人間・環境学博士。論文は「ナチス・ドイツの有機農法:「自然との共生」はなぜ「民族の抹殺」に加担したのか」。

2009年東京大学大学院農学生命科学研究科講師。2013年京都大学人文科学研究所准教授。

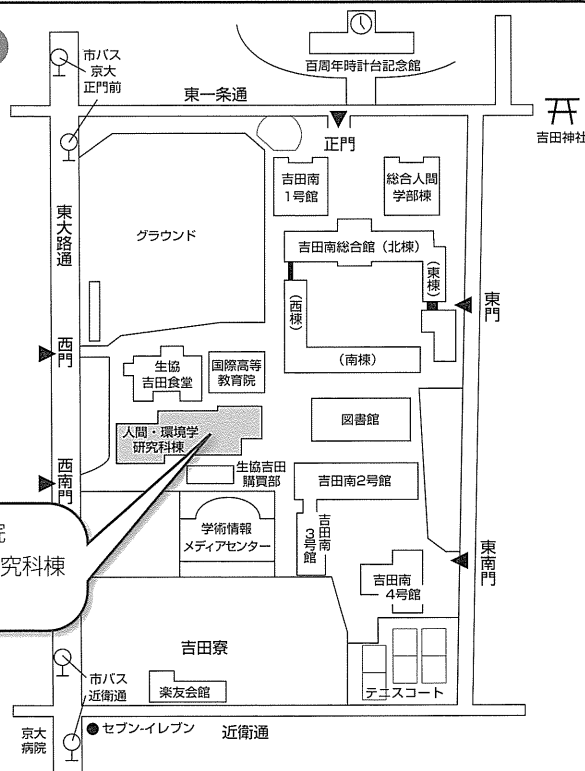
2013年『ナチスのキッチン』で第1回河合隼雄学芸賞、2019年『分解の哲学 — 腐敗と発酵をめぐる思考』でサントリー学芸賞。ほか著書多数。

近辺地図



構内図

吉田南構内配置図



京都大学大学院
人間・環境学研究科棟
地階大講義室

タクシー：JR京都駅から約30分
市バス：230円

交通機関：乗車地	市バス系統	経由・行き先	下車地
J R：京 都 駅 前	D2乗り場から206系統	祇園・北大路バスターミナル	近衛通
阪 急：四条河原町	201系統	祇園・百万遍	
京 阪：四条京阪前	31系統	高野・岩倉	
地下鉄：烏丸今出川	201系統	百万遍・祇園	
京 阪：出町柳駅前			
京 阪：神宮丸太町			
当駅下車北東へ徒歩約20分			